

## 第3章 地域別構想

### 1 地域別構想の役割と区分の設定

#### (1) 地域別構想の役割

地域別構想の役割は、全体構想における将来目標、基本方針を踏まえつつ、地域の特性を生かした地域づくりを推進することであり、そのために、地域ごとの将来像、整備方針を設定します。

#### (2) 地域区分の設定

地域別構想の地域区分は、日常生活に密着した小学校区を基本単位とし、地理的な要素も踏まえ、表 3-1-1 の5地域とします。

表 3-1-1 地域区分

地域名称	小学校区名称	都市計画区域の範囲
土佐山田北地域	香長小学校区	一部都市計画区域 (市街化調整区域)
土佐山田中央地域	山田小学校区	全部都市計画区域 (市街化区域・ 市街化調整区域)
	舟入小学校区	
	楠目小学校区	
土佐山田東地域	片地小学校区	一部都市計画区域 (市街化調整区域)
香北地域	大宮小学校区	都市計画区域外
物部地域	大栃小学校区	都市計画区域外

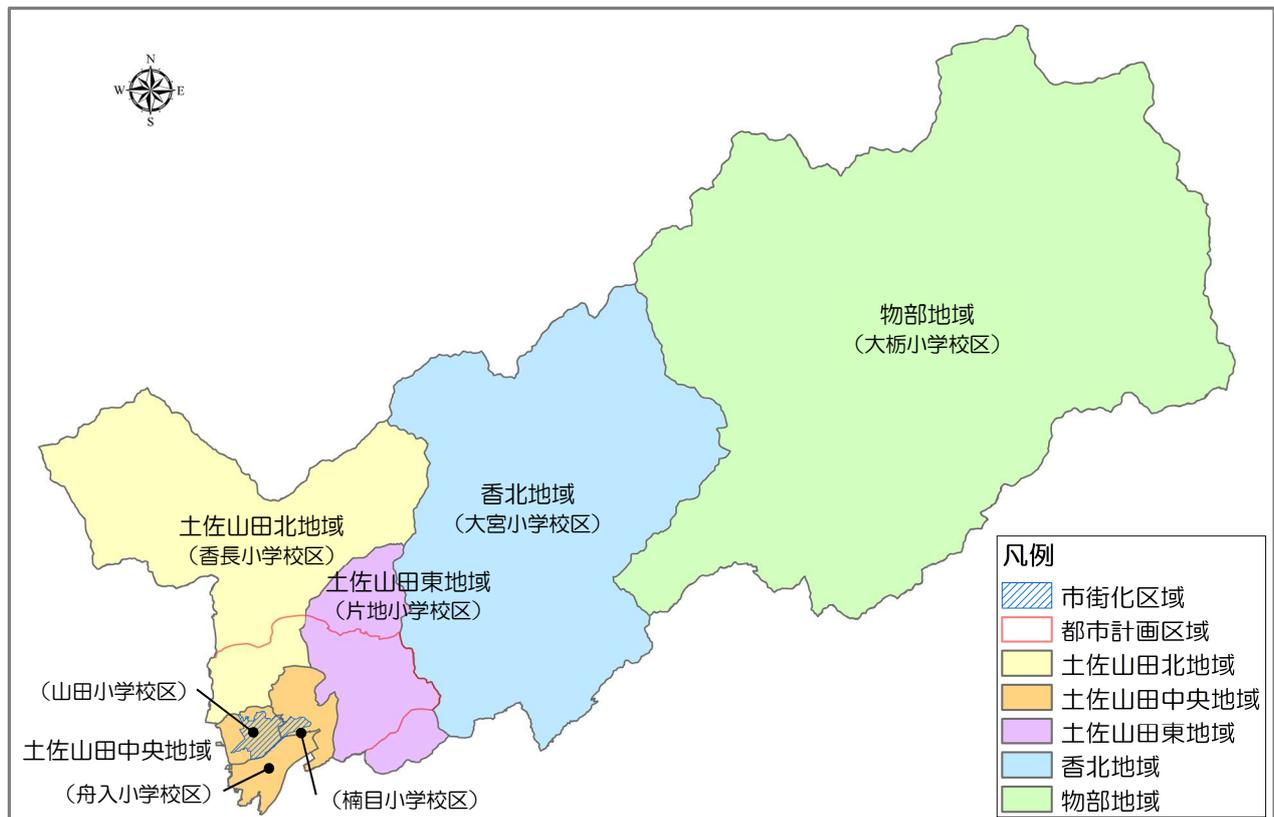


図 3-1-1 地域区分図

## 2 土佐山田北地域

### (1) 土佐山田北地域の将来像

**自然と伝統を未来につなぐ地域**

土佐山田北地域は、土佐打刃物という伝統産業や豊かな自然環境等を守りながら、これらを未来へと伝え、受け継いでいく地域をめざします。

### (2) 土佐山田北地域の整備方針

本地域におけるゾーン、エリア、拠点、都市施設等の整備方針は、表 3-2-1 のとおりです。

表 3-2-1 整備方針

区 分	方 針
自然環境保全ゾーン	●豊かな森林が広がる地域や龍河洞県立自然公園等の区域は、自然環境の保全を図るとともに、自然環境とふれあい、体験できる空間として利用を図ります。
田園環境ゾーン	●農用地*等の優良な農地は、農業生産環境の保全を図るとともに、農業基盤整備の推進、認定農業者*の育成支援、農地中間管理機構*等を利用した農地の利用集積、遊休農地の活用に努めます。 また、地域の特産品であるこら、ネギ等の新たな担い手を確保するために、新規就農者の募集、新規就農者向け研修等を実施します。
地域コミュニティエリア	●香長小学校周辺は、空き家バンクへの登録を前提とした空き家の活用や、未利用地を活用し、子育て世代を中心に多様なニーズに対応した規制緩和を検討します。
自然ふれあいエリア	●甫喜ヶ峰森林公園周辺、平山親水公園周辺は、緑豊かな樹々、山野草、野鳥等を鑑賞し、自然との交流に向けて、森林環境資源の保全、充実を図ります。
伝統産業振興エリア	●土佐刃物流通センターや周辺の鍛造場等は、土佐打刃物の鍛造職人を養成するための場所、環境の整備を推進し、土佐打刃物製造の後継者育成に向けた居住環境の創出や事業承継に向けた体制づくりを推進します。
既存集落エリア	●久次、須江等の既存集落は、集落の維持に向けて空き家の活用を図ります。
集落エリア	●繁藤、平山等の比較的まとまって集落が形成されている地域で暮らす人々の生活環境を維持するため、狭隘道路等の改善やデマンド交通*の充実等を図ります。

区 分	方 針
伝統産業振興拠点	●土佐刃物流通センターは、土佐打刃物に関する知識や技術を継承し、人材を育成する場の整備を推進します。
観光拠点	●香美市地域交流施設（ほっと平山）は、豊かな自然とふれあいながら、様々なものづくりや体験ができる体験型観光の拠点として機能充実を図ります。
歴史文化拠点	●熊野神社本殿は、本市の中で最古の建物であることから、建築特性や歴史的背景等について情報発信に努めます。
みどりの拠点	●甫喜ヶ峰森林公園、平山親水公園は、野鳥や植物の観察空間等を備えている特性を広くPRし、利用を促します。
道路・河川・防災等	●国分川は、過去の氾濫実績を踏まえ、氾濫防止に向けた効果的な河川整備を県に働きかけます。 ●土生川は、河川改修を実現するための事前準備として調査、検討を県に働きかけます。
公共施設・公園・景観等	●甫喜ヶ峰疎水、新改古墳等の歴史・文化資源は、保全を図るとともに、多くの人に知ってもらうよう、場所や価値等の情報発信に努めます。

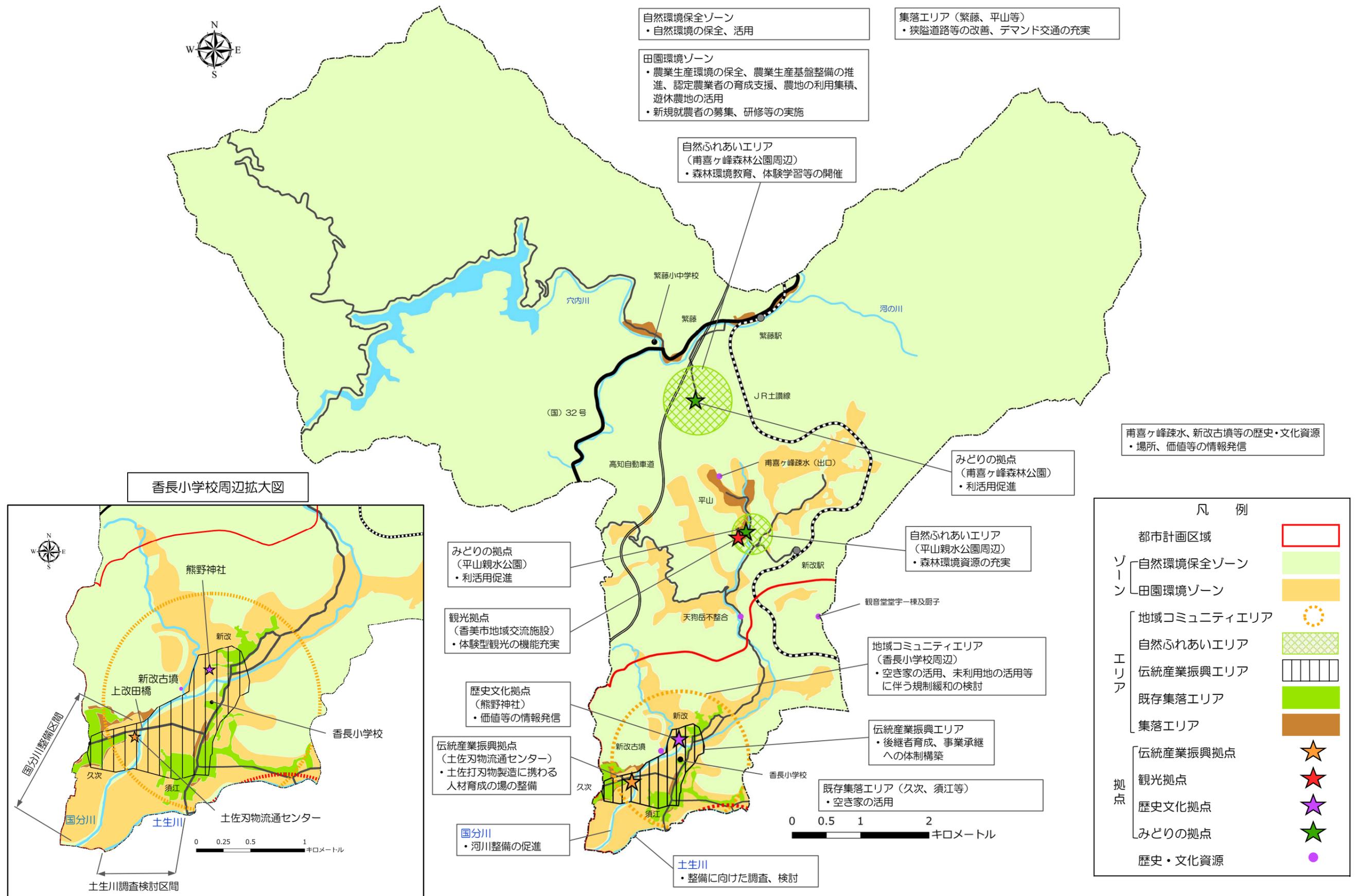


図3-2-1 土佐山田北地域の整備方針図

### 3 土佐山田中央地域

#### (1) 土佐山田中央地域の将来像

新たな価値を創造し、活気あふれる地域

土佐山田中央地域は、誰もが便利で快適な生活を送ることができるように、必要な様々な機能の集積を図りつつ、企業誘致や市外からの移住を推進し、人とのふれあい、交流とともに新たな産業や価値を生み出す地域をめざします。

#### (2) 土佐山田中央地域の整備方針

本地域におけるゾーン、エリア、拠点、都市施設等の整備方針は、表3-3-1のとおりです。

表3-3-1 整備方針

区分	方針
自然環境保全ゾーン	●地域北部の森林や龍河洞県立自然公園等の区域は、自然環境の保全を図るとともに、自然環境とふれあい、体験できる空間として利用を図ります。
田園環境ゾーン	●農用地等の優良な農地は、農業生産環境の保全を図るとともに、農業基盤整備の推進、認定農業者の育成支援、農地中間管理機構等を利用した農地の利用集積、遊休農地の活用に努めます。 また、地域の特産品であるニラ、ネギ等の新たな担い手を確保するために、新規就農者の募集、新規就農者向け研修等を実施します。
市街地ゾーン	●用途に即した土地利用の規制・誘導を図るとともに、道路、公園等の都市施設の整備を計画的に推進します。
都市拠点エリア	●行政、教育、文化、交通等の生活に必要な都市機能の充実を図るとともに、都市の活性化に向けて、商店街の空き店舗の活用を図り、起業活動を促進します。 ●土佐山田駅及びその周辺においては、本市の玄関口として都市の顔に相応しい景観づくりを進め、さらには交通結節点としての機能や、来訪者のためのインフォメーション機能の強化を図ります。
地域コミュニティエリア	●舟入小学校及び楠目小学校周辺は、空き家バンクへの登録を前提とした空き家の活用や、未利用地を活用し、子育て世代を中心に多様なニーズに対応した規制緩和を検討します。

区 分	方 針
産業地区計画検討エリア	<ul style="list-style-type: none"> <li>●国道 195 号（あけぼの街道）、山田バイパス、主要地方道前浜植野線の沿道は、新たな店舗や工場等の立地促進に向けた地区計画制度の活用について検討します。</li> </ul>
伝統産業振興エリア	<ul style="list-style-type: none"> <li>●土佐打刃物の鍛造場、フラフ製作工房等の伝統産業に関わる後継者の育成や事業承継に向けた体制づくりを推進します。</li> </ul>
既存集落エリア	<ul style="list-style-type: none"> <li>●中野、古町、小島等の既存集落は、集落の維持に向けて空き家の活用を図ります。</li> </ul>
集落エリア	<ul style="list-style-type: none"> <li>●予岳、京田等の比較的まとまって集落が形成されている地域は、生活環境の保全や地域コミュニティの維持を図ります。</li> </ul>
歴史文化拠点	<ul style="list-style-type: none"> <li>●市史跡に指定されている楠目城跡、談議所城跡等の歴史的資源は、龍河洞県立自然公園内に存在しており、自然の中で歴史にふれることのできる歴史文化拠点として環境整備を進めるとともに、歴史的・文化的な背景や価値についても情報発信に努めます。</li> <li>●谷秦山墓所、山田堰、八王子宮は、保全を図るとともに、歴史的・文化的な背景や価値等の情報発信に努めます。</li> </ul>
みどりの拠点	<ul style="list-style-type: none"> <li>●秦山公園、物部川緑地（右岸）は、レクリエーションや憩いの場として維持します。</li> </ul>
道路・河川・防災等	<ul style="list-style-type: none"> <li>●土佐山田駅南側では、都市計画道路山田駅前線の未供用区間の整備促進に併せて、バス、タクシー、一般送迎車両等の動線や待機スペースを確保した駅前広場の整備を図ります。</li> <li>●国道 195 号（あけぼの街道）から土佐山田駅北側へのアクセス道路として、都市計画道路宮前秋月丸線の整備を進めます。また、一般送迎車両等の動線や待機スペースを確保した駅前広場（北）の整備を図るとともに、土佐山田駅を跨いだ北側と南側の往来を円滑化する自由通路の整備について検討します。</li> <li>●中心市街地の南北交通の要となる都市計画道路新町西町線は、早期完成をめざします。</li> <li>●地域南部住民の生活の移動手段として、公共交通サービスの充実に向けた路線バスやデマンドバス<sup>*</sup>等の公共交通を検討します。</li> <li>●洪水を安全に流下させるため、物部川の香我美橋下流区間については、引堤、堤防拡幅などの流下能力向上に向けた整備を関係機関に働きかけます。 また、物部川の高水敷<sup>*</sup>は、住民の憩いや交流空間となる整備を関係機関に働きかけます。</li> </ul>

区 分	方 針
<p>公共施設・公園・景観等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●図書館は老朽化が著しいことや、様々な利用者ニーズに対応する必要もあることから、新たに整備します。</li> <li>●西町公園等は、利用者のニーズに沿った整備を推進します。</li> <li>●百年舎、オガタマの木等の歴史・文化資源は、保全を図るとともに、多くの人に知ってもらうよう、場所や価値等の情報発信に努めます。</li> </ul>

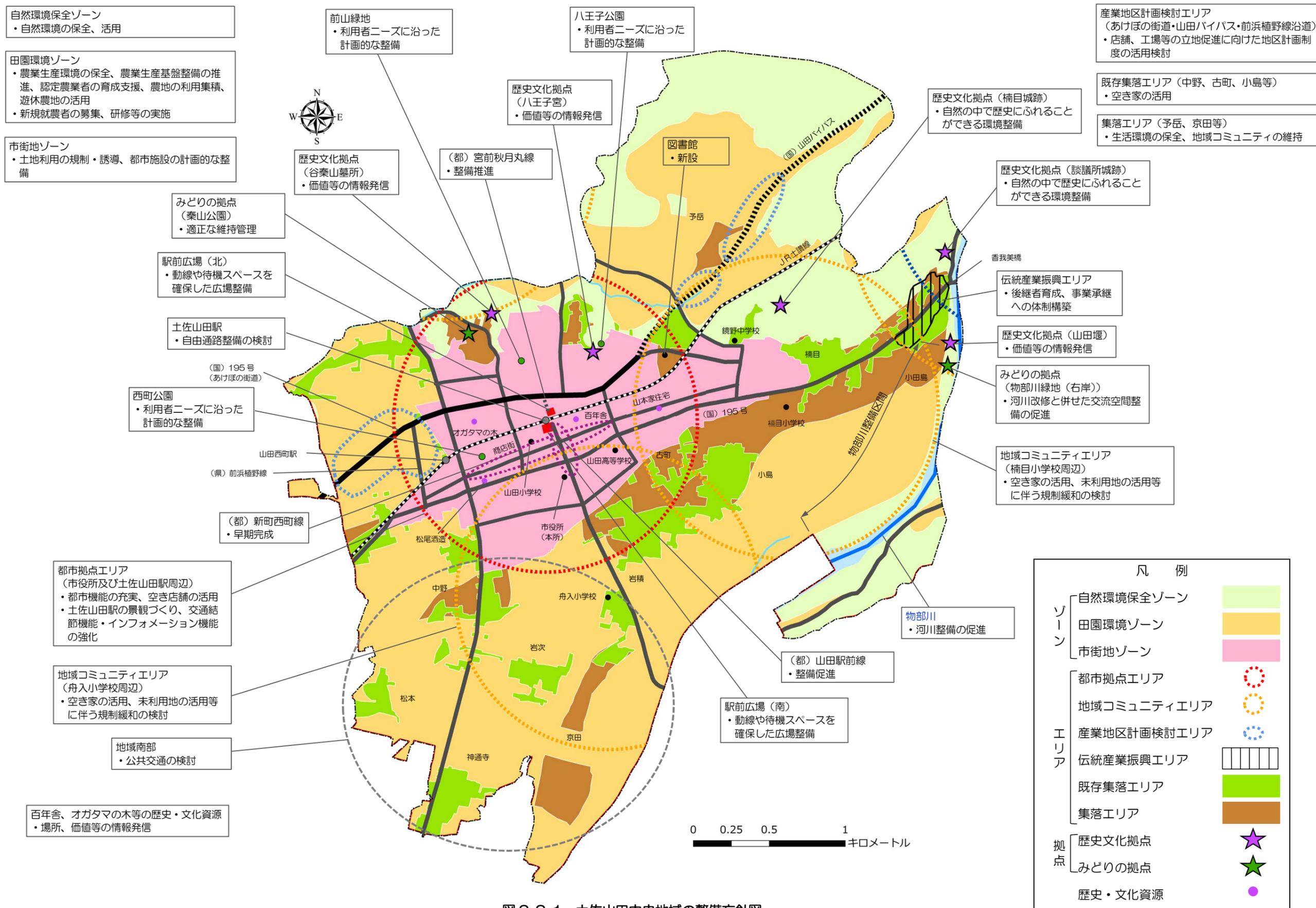


図 3-3-1 土佐山田中央地域の整備方針図

## 4 土佐山田東地域

### (1) 土佐山田東地域の将来像

多様な世代が集い、交流しながら共に創造する地域

土佐山田東地域は、高知工科大学、高知テクノパークが立地し、龍河洞をはじめとする歴史・文化資源も多く残っていることから、若者から高齢者が交流しながら地域の魅力や価値を高めるために、共に創造する地域をめざします。

### (2) 土佐山田東地域の整備方針

本地域におけるゾーン、エリア、拠点、都市施設等の整備方針は、表 3-4-1 のとおりです。

表 3-4-1 整備方針

区分	方針
自然環境保全ゾーン	●赤塚山等の森林が広がる地域や龍河洞県立自然公園等の区域は、自然環境の保全を図るとともに、自然環境とふれあい、体験できる空間として利用を図ります。
田園環境ゾーン	●農用地等の優良な農地は、農業生産環境の保全を図るとともに、農業基盤整備の推進、認定農業者の育成支援、農地中間管理機構等を利用した農地の利用集積、遊休農地の活用に努めます。 また、地域の特産品であるこら、ネギ等の新たな担い手を確保するために、新規就農者の募集、新規就農者向け研修等を実施します。
地域コミュニティエリア	●片地小学校及び佐岡コミュニティセンター周辺は、空き家バンクへの登録を前提とした空き家の活用や、未利用地を活用し、子育て世代を中心に多様なニーズに対応した規制緩和を検討します。
産学連携・研究学園交流エリア	●高知工科大学との連携により、特産品や伝統工芸品等を活用した本市の新たなブランド開発に取り組みます。 また、大学関係者、学生を対象とした居住や大学関係者、地域住民が利用する生活利便施設の誘導施策について検討します。
産業地区計画検討エリア	●現在整備中の山田バイパス沿いは、高知自動車道へのアクセスの良さを生かした新たな工業流通団地等の整備について検討します。
既存集落エリア	●神母ノ木、船谷、仁井田等の既存集落は、集落の維持に向けて空き家の活用を図ります。

区 分	方 針
集落エリア	●逆川、佐野、宮ノ口等の比較的まとまって集落が形成されている地域は、生活環境の保全や地域コミュニティの維持を図ります。
清流保全エリア	●片地川、仁井田川、後入川は、虫が生息しやすい環境を保全するとともに、環境学習の場として活用可能な多様な動植物が生息するビオトープ*づくりを推進します。
研究学園交流拠点	●高知工科大学は、地域産業の発展、技術革新に向けた研究開発を促進するとともに、学生による地域貢献、活性化活動に対する取組を支援します。
産業研究拠点	●森林総合センター、高知県立林業大学校、香美農林合同庁舎は、本市の農林業の発展を支える人材の育成や地域産業技術の調査、研究の拠点として機能強化を図ります。また、高知テクノパークへは、試験研究施設や情報通信業等の先端技術企業、製造業に関わる企業の誘致を促進します。
歴史文化拠点	●龍河洞は、良好な自然環境と景観を有した貴重な財産として保全を図ります。また、快適に散策できる環境整備や、外国人も訪れやすい環境整備を図ります。 ●神母神社は、保存を図りつつ、歴史的・文化的な背景や価値について情報発信に努めます。
みどりの拠点	●鏡野公園、林業技術センター自然の森、さるが滝周辺、物部川緑地（左岸）は、利用環境の向上を図ります。
道路・河川・防災等	●主要地方道龍河洞公園線の幅員の狭い箇所は、高知テクノパークへのアクセス強化に向けて、早期の改修を県に働きかけます。 ●物部川左岸の一部にある浸水想定区域の解消に向けては、必要な河川整備を関係機関に働きかけます。
公共施設・公園・景観等	●森林総合センター等を活用し、森林環境教育、体験学習等を市内各地で展開できるような体制づくりを進めます。 ●神母神社の楠の大木等の歴史・文化資源は、保全を図るとともに、多くの人に知ってもらうよう、場所や価値等の情報発信に努めます。

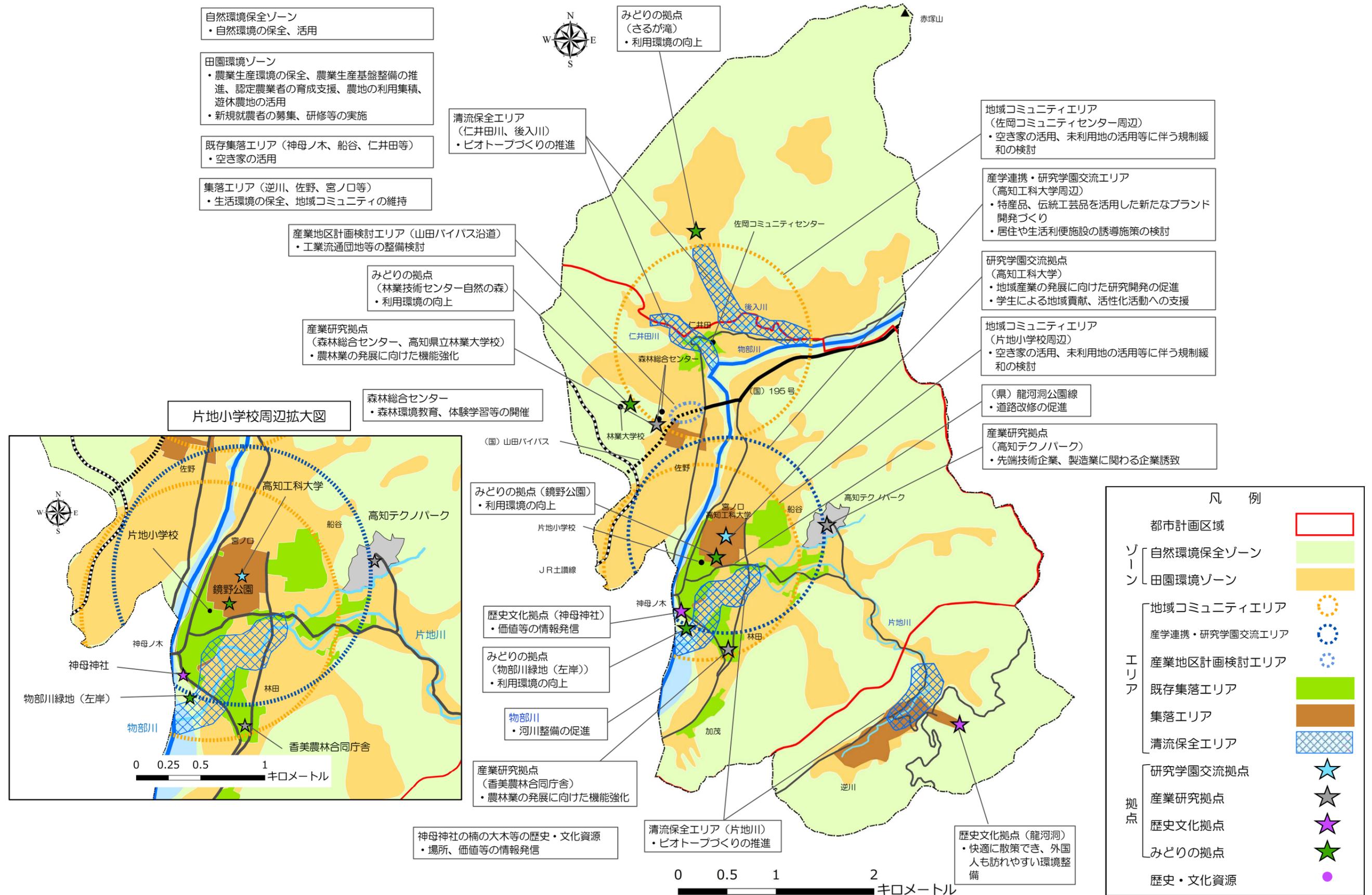


図3-4-1 土佐山田東地域の整備方針図

## 5 香北地域

### (1) 香北地域の将来像

自然と歴史に囲まれ、心豊かな暮らしの中で子どもが育つ地域

香北地域は、川の内川、大荒の滝、轟の滝等の自然とのふれあいや、新旧の様々な歴史資源から地域の歴史、伝統文化について学びながら、郷土愛を育てていく地域をめざします。

### (2) 香北地域の整備方針

本地域におけるゾーン、エリア、拠点、都市施設等の整備方針は、表 3-5-1 のとおりです。

表 3-5-1 整備方針

区 分	方 針
自然環境保全ゾーン	<ul style="list-style-type: none"> <li>●間伐や鳥獣対策により森林環境の保全に努めます。</li> <li>●御在所山は、良好な眺望地点として、訪れやすい環境づくりに努めます。</li> </ul>
田園環境ゾーン	<ul style="list-style-type: none"> <li>●農用地等の優良な農地は、農業生産環境の保全を図るとともに、農業基盤整備の推進、認定農業者の育成支援、農地中間管理機構等を利用した農地の利用集積、遊休農地の活用に努めます。</li> </ul> <p>また、地域の特産品である大葉、菌床しいたけ、ゆず等の新たな担い手を確保するために、新規就農者の募集、新規就農者向け研修等を実施します。</p>
地域拠点エリア	<ul style="list-style-type: none"> <li>●香北支所周辺は、美良布地区集落活動センターを中心にコミュニティ活動を推進し、さらには、道の駅美良布、やなせたかし記念館アンパンマンミュージアム等の施設を活用して交流機能の充実を図ります。</li> </ul>
自然ふれあいエリア	<ul style="list-style-type: none"> <li>●川の内川周辺は、自然の中でバーベキューやスポーツ等を楽しめるほか、川遊びができる空間を有しており、水とふれあうエリアとして保全と活用を図ります。</li> <li>●香北の自然公園は、四季折々の花を観賞し、美良布地区を眺望できる場所として空間整備を図ります。</li> <li>●土佐塩の道は、香南市から物部町大栃まで塩が運ばれていた歴史を多くの人に知ってもらい、後世に伝えていくための情報発信やイベントの開催等を図ります。</li> </ul>
集落エリア	<ul style="list-style-type: none"> <li>●美良布、葎生野等の比較的まとまって集落が形成されている地域は、周辺の小規模集落と連携し、生活環境の保全や地域コミュニティの維持を図ります。</li> </ul>

区 分	方 針
観光拠点	<ul style="list-style-type: none"> <li>●やなせたかし記念館アンパンマンミュージアム、やなせたかし記念館詩とメルヘン絵本館、吉井勇記念館、轟の滝、大荒の滝は、より一層の賑わいづくりのために、周辺施設等との連携を推進するほか、訪れやすい環境整備を推進します。</li> </ul>
歴史文化拠点	<ul style="list-style-type: none"> <li>●大川上美良布神社は、文化財に指定されている社殿、神庫等の建築物の保全を図るとともに、秋の例大祭に執り行われる御神幸について広くPRします。</li> <li>●溪鬼荘は、歴史的・文化的な背景や価値について情報発信に努めます。</li> </ul>
みどりの拠点	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日ノ御子河川公園キャンプ場は、水や緑に囲まれた自然空間を活用し、ふれあいや交流環境の充実を図ります。</li> </ul>
道路・河川・防災等	<ul style="list-style-type: none"> <li>●一般県道久保大宮線、一般県道日ノ御子土佐山田線は、災害時等における国道195号の代替路線となることから、車線の拡幅、視距*の改善等に向けて県に働きかけます。</li> <li>●消防署香北分署は老朽化しており、消防業務や地域の防災拠点として新たに整備します。</li> </ul>
公共施設・公園・景観等	<ul style="list-style-type: none"> <li>●国道195号の「あじさいロード」では、今後もあじさいの維持管理を行い、良好な景観の保全を図るとともに、来訪者がゆったりと観賞できる場所等の整備について検討します。</li> <li>●高照寺地藏堂（干体地藏）、バクチノ木等の歴史・文化資源は、保全を図るとともに、多くの人に知ってもらうよう、場所や価値等の情報発信に努めます。</li> </ul>

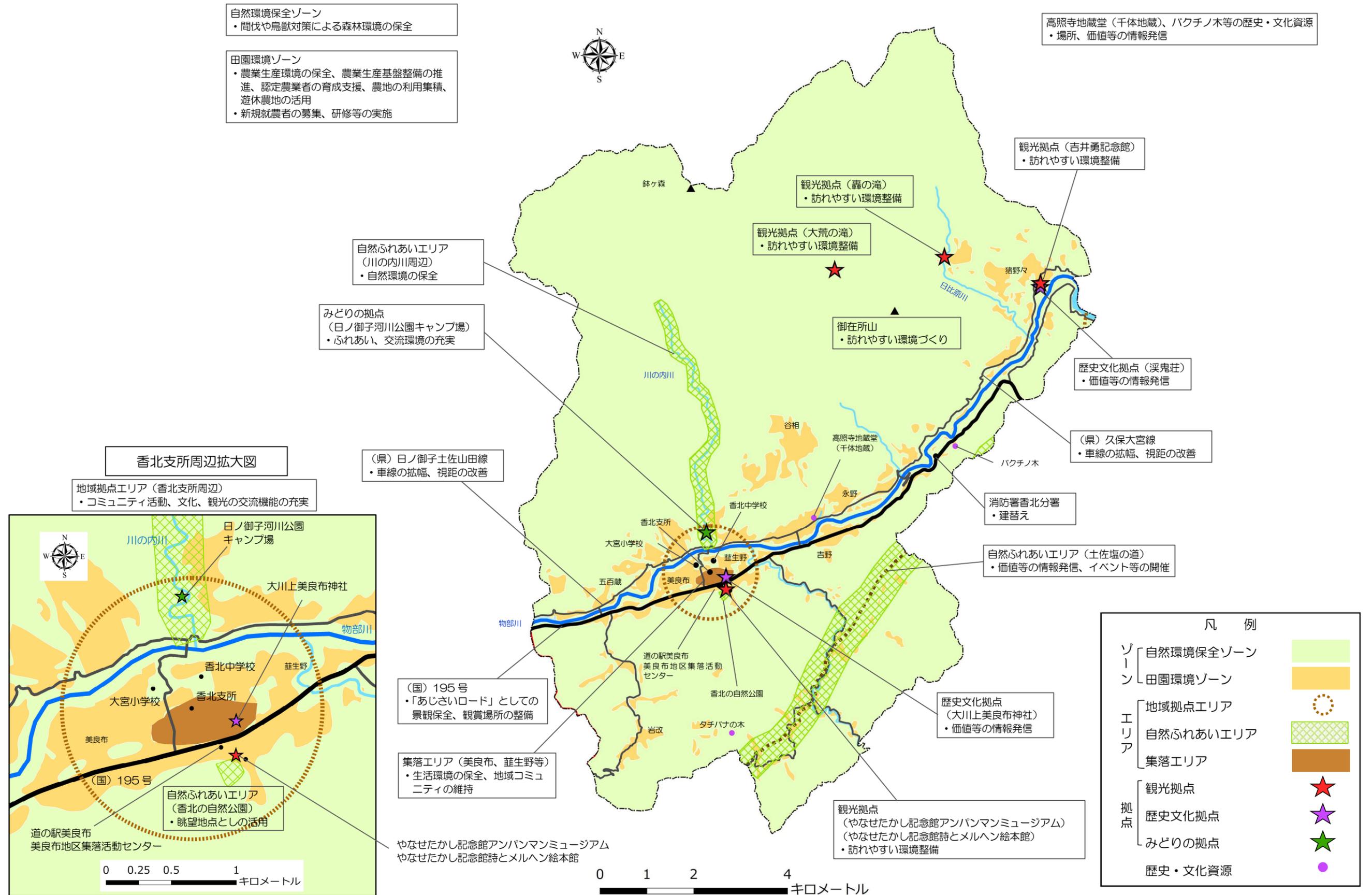


図 3-5-1 香北地域の整備方針図

## 6 物部地域

### (1) 物部地域の将来像

豊かな自然の中で、文化や伝統が息づく暮らしやすい地域

物部地域は、自然公園に指定されている山、渓谷等の豊かな自然を身近に感じながら、野菜や柚子等の農作物の栽培を推進し、生活に関係の深い文化や伝統を後世へとつなげていく地域をめざします。

### (2) 物部地域の整備方針

本地域におけるゾーン、エリア、拠点、都市施設等の整備方針は、表3-6-1のとおりです。

表3-6-1 整備方針

区分	方針
自然環境保全ゾーン	<ul style="list-style-type: none"> <li>●間伐や鳥獣対策により森林環境の保全に努めます。</li> <li>●三嶺、矢筈山、綱附森、白髪山、石立山等は、歩いて楽しむことができる登山道や案内標識等の整備について検討します。</li> </ul>
田園環境ゾーン	<ul style="list-style-type: none"> <li>●農用地等の優良な農地は、農業生産環境の保全を図るとともに、農業基盤整備の推進、認定農業者の育成支援、農地中間管理機構等を利用した農地の利用集積、遊休農地の活用に努めます。</li> </ul> <p>また、地域の特産品であるゆず等の新たな担い手を確保するために、新規就農者の募集、新規就農者向け研修等を実施します。</p>
地域拠点エリア	<ul style="list-style-type: none"> <li>●物部支所周辺は、医療施設を維持しつつ、ライダーズイン奥物部、奥物部ふるさと物産館等の観光施設等の情報発信に努めます。</li> </ul>
自然ふれあいエリア	<ul style="list-style-type: none"> <li>●べふ峡は、豊かな自然の中を散策しながら自然を鑑賞することができるエリアとして機能の充実を図ります。</li> <li>●土佐塩の道は、香南市から物部町大柄まで塩が運ばれていた歴史を多くの人に知ってもらい、後世に伝えていくための情報発信やイベントの開催等を図ります。</li> </ul>
集落エリア	<ul style="list-style-type: none"> <li>●大柄地区の比較的まとまって集落が形成されている地域で暮らす人々の生活環境を維持するため、狭隘道路等の改善や土佐山田地域を結ぶ公共交通ネットワークの確保に努めます。</li> </ul>

区 分	方 針
観光拠点	<ul style="list-style-type: none"> <li>●べふ峡温泉は、自然の中で安らぐことができ、ゆったりとした時間を過ごすことができる環境づくりに努めます。</li> <li>また、別府キャンプ場、農林漁業体験実習館等を活用して、地域の魅力や人々と交流する体験学習、農業体験等について検討します。</li> </ul>
歴史文化拠点	<ul style="list-style-type: none"> <li>●塩ヶ峰公土方神社は、土佐塩の道との歴史的な関係もあることから、保全を図るとともにその存在をPRします。</li> </ul>
みどりの拠点	<ul style="list-style-type: none"> <li>●大栃公園は、物部グラウンド、奥物部湖に近接していることから、一体的な利用の促進を図るとともに、大栃集落の人々の憩いの場として、環境整備を図ります。</li> <li>また、物部グラウンドで開催される奥物部湖湖水祭は、多くの人に訪れていただけるような仕組づくりと併せて地域の魅力等の情報発信について検討します。</li> </ul>
道路・河川・防災等	<ul style="list-style-type: none"> <li>●主要地方道安芸物部線、一般県道久保大宮線は、隣接市町村を結ぶ道路や、三嶺へと繋がるアクセス道路であるため、車線の拡幅、視距の改善に向けて県に働きかけます。</li> <li>●大栃分団屯所は老朽化しており、非常時や災害時における活動の拠点として新たに整備します。</li> </ul>
公共施設・公園・景観等	<ul style="list-style-type: none"> <li>●奥物部ふるさと物産館のレストラン・展示室を隣接するふるさと市・テナントとの連携を図り、地域の魅力を発信する施設として活用します。</li> <li>●物部川、上葎生川、奥物部湖等は、水とふれあう場づくりや川の魅力・大切さを学ぶ機会づくりに努めます。</li> <li>●小松神社、大日寺の大杉、神池の柳、大栃のムクノキ等の歴史・文化資源は、保全を図るとともに、多くの人に知ってもらうよう、場所や価値等の情報発信に努めます。</li> <li>●物部地域に伝えられている土佐の神楽（いざなぎ流御祈祷）は、国の重要無形民俗文化財に指定されており、保全、継承を図ります。</li> <li>また、笹普賢堂の夏祭りの踊りは、地域独自の伝統文化として保全を図ります。</li> </ul>

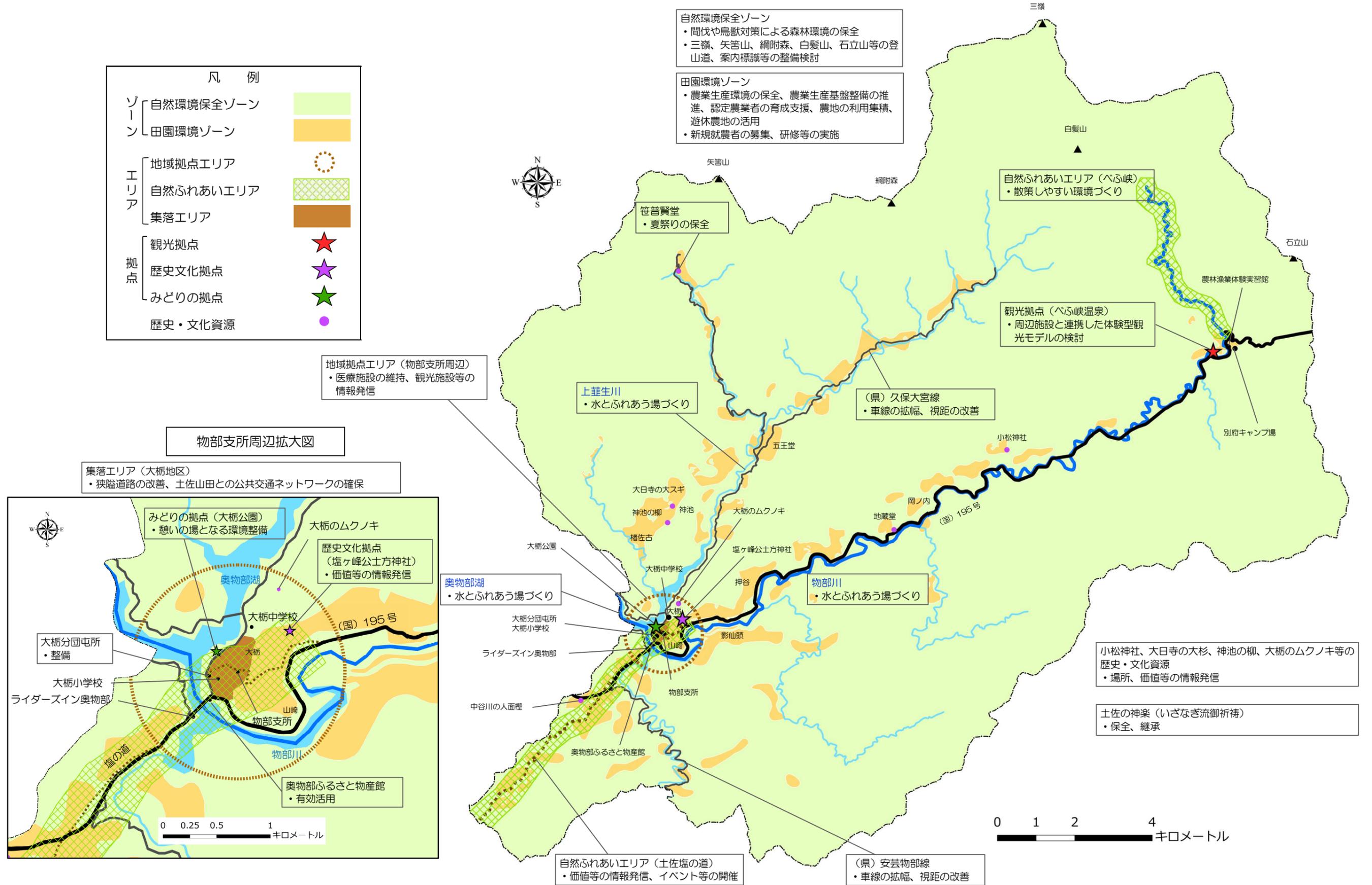


図3-6-1 物部地域の整備方針図